

なるわ交通株式会社 環境行動計画

取組方針

なるわ交通株式会社は、『地域に密着した、より安全で信頼されるタクシー』を目指し、顧客ニーズにあった車両を取り揃え事業を行っています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 旅客輸送部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ エコドライブの徹底
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成22年5月20日

なるわ交通株式会社
代表取締役 塩村 秀樹

3. 環境負荷の削減目標及び取組内容

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するため、以下のとおり取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組項目を設定して取り組むこととします。

<p>目標—1</p>	<p>二酸化炭素の総排出量（売上高当たり）を、21年度を基準として23年度までに2%削減する。</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（事務所での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 室内温度を適温に設定する。（冷房26度と暖房22度を目安） ② 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。 ③ 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。 ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。 ⑤ ブラインドを利用して冷暖房の効果を高める。 <p>（車両の使用に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① エコドライブに取り組む。（停車時のアイドリングストップ、ふんわりアクセルに心がける） ② 車両の点検及び維持管理を強化する。 ③ エコカー（低燃費・低公害車）の購入を推進する。 ④ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
<p>目標—2</p>	<p>廃棄物の排出量を、21年度を基準として23年度までに2%削減する。</p>
<p>具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物は、決められたごみ箱（可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、パンフレット、廃プラスチック）に分別して出す。 ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。 ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。 ④ 新製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。 ⑤ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。 ⑥ 紙のリサイクルに努める。

目標—3	コピー用紙の使用量を、21年度を基準として23年度までに2%削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。 ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。 ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。 ④ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。 ⑤ コピーをする場合は、その必要性を十分吟味する。

目標—4	水道の使用量を、21年度を基準として23年度までに2%削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 節水に努める。 ② 洗車するときは、水を流しっぱなしにしないようにする。 ③ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。 ④ 洗車用ホースに手元コックを取り付ける。 ⑤ 水道蛇口に節水こまを取り付ける。

4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するため、社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。